

# Yokohama Tsuzuki Lions Club

25<sup>th</sup> anniversary



横浜都筑ライオンズクラブ

2017～2018年度

■ 国際会長テーマ ■

**We Serve**  
われわれは奉仕する

国際会長

L. ナレシュ・アガワル

■ ガバナーテーマ ■

**友愛・協調**  
奉仕に向けて新たな船出

330-B 地区第 53 代ガバナー

L. 濱田 徹

■ 会長テーマ ■

**協調と友愛**

330-B 地区 3R-3Z

横浜都筑ライオンズクラブ会長

L. 齋藤 洋吉

# Contents

## 横浜都筑ライオンズクラブご挨拶

横浜都筑ライオンズクラブ結成 25 周年記念事業	実行委員長	L. 酒川 静雄	2
横浜都筑ライオンズクラブ	会長	L. 齋藤 洋吉	3

## 祝 辞

ライオンズクラブ国際協会	会長	ナレシュ・アガワル L.	4
ライオンズクラブ国際協会 330-B 地区	第 53 代地区ガバナー	濱田 徹 L.	5
ライオンズクラブ国際協会 330-B 地区	3 リジョンチェアパーソン	西川 実 L.	6
ライオンズクラブ国際協会 330-B 地区	3 リジョン 3 ゾーンチェアパーソン	坂間 智司 L.	7
横浜みどりライオンズクラブ	会長	久保田真吾 L.	8
横浜あおばライオンズクラブ	会長	後藤 斉由 L.	9
神奈川県	知事	黒岩 祐治 様	10
横浜市	市長	林 文子 様	11
都筑区	区長	畑澤 健一 様	12
都筑警察署	署長	吉留 育弘 様	13
都筑消防署	署長	星野 雅明 様	14

結成 25 周年記念実行委員会	15
結成 25 周年記念アクティビティ	16
21 期のあゆみ	18
22 期のあゆみ	20
23 期のあゆみ	22
24 期のあゆみ	24
25 期のあゆみ	26
26 期のあゆみ	28
役員構成 21 期～ 26 期	29
会員紹介	35
ライオンズ在籍年数表	40

## ご挨拶

横浜都筑ライオンズクラブ結成25周年記念事業

実行委員長 L. 酒川 静雄



この度、横浜都筑ライオンズクラブがここに25周年を迎えることができました。本日、濱田地区ガバナーをはじめ西川RC、キャビネットの皆様、そして畑澤区長、吉留警察署長、星野消防署長、芳我土木事務所長、来賓の皆様方のご臨席を賜り、この25周年の行事に花を添えて頂きましたことを、心より感謝申し上げます。

また、親クラブをはじめ、ブラザークラブ・ゾーンのメンバーには、大変お忙しい中をご出席を賜り盛大に挙行できますことを御礼申し上げます。

さて、当クラブは、都筑区誕生に伴い、1993年2月に発足し、当地のライオンズクラブとして、都筑区の発展と共に大きな絆をつくってきました。

我々のモットーとするウイサーブの精神で、様々なイベントへの協賛と、労力奉仕、全国にまたがったの災害義援金の募金活動等、これまで多くの事業に取り組んでまいりました。

その中であって、どの組織にも見られるように、仲間内に紆余曲折があり、チャーターメンバーから現在に至るまで、様々な事情でメンバーが入れ替わっていく姿を見ると、人間関係の難しさを感じさせられます。

「子曰く、徳は孤ならず、必ず隣あり」『論語』里仁

(人格者は、必ず人に親しまれる、有徳者は、孤立することなく、多くの人が寄ってくるという意)

少なくとも、ライオンズメンバーの有り様は、こうありたいものです。

我々は、この25周年を節目に未来に向かって、覚悟と勇気を持ってグローバルリーダーを目指していきます。

今後とも、皆様方のご指導とご支援をお願い申し上げ、感謝の言葉とさせていただきます。

## ご挨拶

横浜都筑ライオンズクラブ 会長 L. 齋藤 洋吉



私共、横浜都筑ライオンズクラブは、横浜みどりライオンズクラブのスポンサーにより、1993年2月に結成され多くの方々のご支援により、ここに25周年という記念すべき節目の年を迎える事が出来ました。

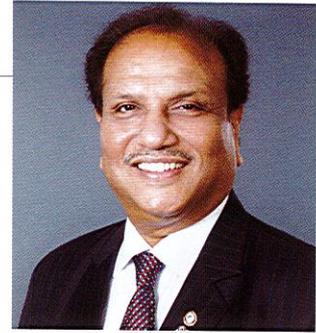
当クラブは、結成以来毎月行っている献血奉仕活動の他、現在は区に運営を移管しましたが、障害を持った人を対象とした福祉農園を手がけてまいりました。その他、区民まつり、江川の美化活動等地域の諸行事に積極的に参加してまいりました。25年経った今、先輩諸兄が築いてきましたこれらの活動は、我がクラブの伝統行事となっています。

今年度は、25周年記念事業として港北ニュータウン内の交差点に、交通安全を願って「皆が見てる その運転」という標語の看板を設置致しました。近年、ドライバーのモラルの低下による事件、事故が度々報道されていますが、そんな事件、事故が一件でも減少すればとの思いからであります。今後も地域に愛され、必要とされる活動を展開していきたいと思っております。

本日は濱田地区ガバナー始めライオンズ関係者の皆様、畑澤都筑区長、吉留都筑警察署長を始め行政の皆様方のご臨席を賜り、25周年記念式典を挙行出来ました事、心より感謝申し上げます。今後とも皆様方のあたたかいご指導、ご鞭撻を賜ります様、心よりお願い申し上げますご挨拶とさせていただきます。

# 祝辞

ライオンズクラブ国際協会  
会長 L. ナレシュ・アガワル



横浜都筑ライオンズクラブ

ライオンズの皆様へ

ナマステ!

このたびは結成25周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。

周年記念は、これまでクラブが成し遂げてきたことを顧みると同時に、新たな奉仕の可能性を望む機会です。皆さん一人一人の思いやりの気持ち、他人に手を差し伸べようという決意が、コミュニティにおける重要な存在として、皆さんのクラブが認められてきた理由です。そして、一つ一つのクラブがそのように努力してきたからこそ、ライオンズクラブ国際協会は1世紀に渡り、奉仕分野のグローバル・リーダーであり続けることが出来たのです。

皆さんのクラブは、全体にとって良いことの実現のため、人々と一緒に集まり力を合わせることで、一人一人がやるよりも大きなインパクトを残せるということを理解した、思いやりのあるメンバーにより結成されました。これこそが、「パワー・オブ・ウィ (Power of We)」、私たちが持つ力なのです。奉仕を通じて世界をより良い場所にするという私たちの伝統を受け入れ、引き継いでいくことで、皆さんは国際協会が新たな高みに到達することを助けてくださっているのです。

援助を必要としている人々に手を差し伸べ続けることは、皆さんが献身的な活動を継続してくださることではじめて可能になります。心から感謝いたします。

重ねて、貴クラブの周年記念をお祝い申し上げます。今後も、皆さんと共に奉仕を続けていけることを心から光栄に、そして楽しみに思っております。

心を込めて。

## 祝辞

ライオンズクラブ国際協会330-B地区  
第53代 地区ガバナー L. 濱田 徹



横浜都筑ライオンズクラブ結成25周年誠におめでとうございます。

ライオンズクラブ国際協会330-B地区を代表しまして心からお祝い申し上げます。

貴クラブは1993年2月18日、横浜みどりライオンズクラブのスポンサーにより結成されて以来、四半世紀以上にわたり地域を中心に積極的なアクティビティを展開されております。中でも障害のある子どもたちのために始めた福祉農園（現在は都筑区主催に一本化）は、クラブ会員の皆様が一丸となって地元地域の方々と共に障害者福祉に取り組まれ、その継続実績は誠に賞賛に値するものであります。

また、献血奉仕活動はクラブ発足以来毎月継続されており、更には災害復興支援事業としての募金活動、区民まつりや江川の清掃奉仕活動など、貴クラブの地域ニーズに応えた継続的社会奉仕活動に深く敬意を表します。

私は今期、ガバナーテーマとして「友愛・協調」～奉仕に向けて新たな船出～を掲げました。価値観の異なるメンバー一人ひとりが友愛の精神でお互いを尊重し、そして協調すればクラブ会員の維持・増強となり、結果的にクラブは発展していくと信じております。

ライオンズクラブ国際協会は、記念すべき100周年を迎え、次の100年に向かって新たな船出をしました。

横浜都筑ライオンズクラブにおかれましては、この四半世紀の歴史を踏まえて、我々のモットーであり、ナレシュ・アガワル国際会長のテーマでもある「We Serve」の精神のもと、更なる貴クラブのご発展とクラブ会員の皆様のご活躍を心からお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。

## 祝辞

ライオンズクラブ国際協会330-B地区  
3リジョンチェアパーソン L. 西川 実



横浜都筑ライオンズクラブ結成25周年、誠におめでとうございます。3リジョンメンバーの代表として心よりお慶び申し上げます。

1993年「横浜みどりライオンズクラブ」によってチャーターされた「横浜新横浜ライオンズクラブ」は緑区の人口増に伴う分区により都筑区が誕生したあと、名称を「横浜都筑ライオンズクラブ」と改められました。

現在、会員数も40名近い大きなクラブとなって活動されています。

奉仕活動は障害者支援活動として始めた「バーベキューとふれあいの夕べ」が発展し、現在は「福祉農園」となり、毎年参加されていると聞いております。

その他献血活動、災害支援、清掃活動、消防との連携等、地域密着型の奉仕活動を継続されている事に対して深く敬意を表します。

ライオンズクラブ国際協会も次の100年に向かって歩み始めました。国際会長は「We Serve」と、濱田ガバナーは「奉仕に向けて新たな船出」と謳っておられます。

日本の社会も高齢化社会となり、いわゆる弱者が増えてきます。益々我々ライオンズクラブの役割が増えてくることになります。

「横浜都筑ライオンズクラブ」も今まで同様、地域に密着したクラブ活動をより強力に押し進めていただき輝かしいクラブとして大いに発展されますよう、又、会員の皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

## 祝辞

ライオンズクラブ国際協会330-B地区  
3リジョン3ゾーンチェアパーソン L. 坂間 智司



横浜都筑ライオンズクラブが結成25周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

横浜の都筑の地に根差した地元密着の奉仕活動は地域社会に大きな貢献、影響をもたらしていると感じております。1993年より積み上げてきた功績は、メンバーの友情と信頼関係があればこそ継続できた賜物と存じます。

また、本日の周年事業に関しまして、ご苦勞された実行委員の皆様、長年支えてきたご家族の皆様、事務局様にも重ねてお祝い申し上げます。

横浜都筑ライオンズクラブのメンバーの皆様におかれましては、今後も地域社会とライオンズクラブの模範的存在として、ご活躍されることと確信いたしております。共に歩める事、今日の喜び、会員の皆様の益々のご健勝、ご活躍、ご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

## 祝辞

横浜みどりライオンズクラブ 会長 L. 久保田真吾



横浜都筑ライオンズクラブ結成25周年、誠におめでとうございます。

一言で25年と申しましても、高度成長からその後のバブル崩壊、震災に至るまでを振り返りますと、外部環境やライオンズクラブの浮き沈みなど、本当に激動の25年でした。そうした中で、いつも誠実に、着実に事業を成し遂げられ、献血奉仕、募金活動奉仕、数々の事業の実績は語るにいとまがありません。また、歴代会長を始め会員皆様の固い結束のもと会員増強に尽力され、発展の一途を辿り、更にその内には、情熱や順応性、果敢な行動力の多くの力をも秘めていると思われま。

私の今期テーマは「一致協力We Serve」であります。横浜都筑ライオンズクラブと横浜みどりライオンズクラブは親子であります。共存共栄の精神で力を合わせ、皆様を盛り立てて参りたいと考えておりますので、今後とも幾久しく、宜しく願い申し上げます。

最後になりますが、貴クラブのご健勝と益々のご活躍を祈願してお祝いの言葉とさせていただきます。

## 祝辞

横浜あおばライオンズクラブ 会長 L. 後藤 斉由



このたび横浜都筑ライオンズクラブが結成25周年を迎えられましたことを、横浜あおばライオンズクラブを代表いたしまして、心よりお祝い申し上げます。

貴クラブが結成された1993年頃の都筑区は開発途中であって、現在とはかけ離れた街並みであったと存じております。この25年の間に、日本でも指折りの発展を遂げた都筑区と同じように発展し、ご活躍されている貴クラブの四半世紀は都筑区の歴史そのものであります。

結成以来、毎月継続されている献血活動、障害のある子ども達のための福祉農園の開催など、地域に根差した様々な奉仕活動は貴クラブの実直な奉仕の精神の表れであり、ご尽力とご功績に対して心からの敬意を表します。また、昨今の会員数の増加は顕著で非常に活力のあるクラブであり、他クラブの模範とするところであります。

私ども横浜あおばライオンズクラブは、貴クラブとブラザークラブとして、これまで大変親しく交流させていただいております。貴クラブの地域に根差した奉仕活動を私どもも見習い、地域社会へのさらなる貢献を目指し精進して参りたいと存じますので、今後とも更なる交流をよろしくお願い申し上げます。

終わりに、横浜都筑ライオンズクラブの益々のご発展と会員の皆様のご多幸を祈念して、お祝いの言葉といたします。

## 祝辞

神奈川県知事 黒岩祐治



横浜都筑ライオンズクラブが結成25周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

横浜都筑ライオンズクラブの皆様は、1993年の結成以来、献血奉仕活動、薬物乱用防止活動、清掃奉仕活動、募金活動など、様々な社会奉仕活動に積極的に取り組まれています。

こうした長年にわたる横浜都筑ライオンズクラブの皆様の御尽力に対し、深く敬意を表します。

さて、今日、地域課題が複雑・多様化する中、多様な主体が協働・連携することで効果的に地域課題の解決を図っていく必要性が増しています。

県では、「かながわグランドデザイン 第2期実施計画」の中で、「協働連携～NPOの自立的活動の促進と協働型社会の実現をめざして～」と名づけたプロジェクトを推進しているところです。

その中で、NPOが自立的に活動できるよう支援するとともに、地域課題の解決に向けて、皆様のクラブをはじめとする団体やNPO、企業、大学、行政の協働・連携を進めることで、多様な主体による協働型社会の実現を目指しています。

また、一昨年は、県の障がい者支援施設において、障がい者に対する偏見や差別的思考から引き起こされたと伝えられる大変痛ましい事件が発生しました。

県では、このような事件が二度と繰り返されないよう、この悲しみを力に、断固とした決意をもって、ともに生きる社会の実現をめざし、「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めたところです。

横浜都筑ライオンズクラブの皆様におかれましては、今後とも地域社会のよきリーダーとして御尽力いただくとともに、こうした県の取り組みにもお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後に、横浜都筑ライオンズクラブのさらなる御発展と、会員の皆様のますますの御健勝、御活躍を心から祈念し、お祝いの言葉といたします。

## 祝辞

横浜市長 林 文子



## 結成 25 周年に寄せて

このたび、横浜都筑ライオンズクラブが結成 25 周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

貴クラブの皆様には、1993 年の結成以来、地域に根差した奉仕活動を継続していただき、地域社会の発展に多大なご貢献をいただいております。結成以来、毎月行っている献血奉仕、福祉農園の実施、清掃奉仕活動、各種寄付活動、更には区民まつりへの協賛など、多岐にわたる活動を通じて、地域社会を支えていただいております、改めて深く敬意を表し、感謝申し上げます。

貴クラブの結成の翌年、1994 年に誕生した都筑区は、皆様のお力添えにより着実に発展しています。豊かな自然を残し、野菜を中心とした農業が盛んで、都市と農業が調和した新しい街づくりが進んでいます。また、企業の本社、研究所等の進出も続いており、商業・業務・サービス業も集積しています。2008 年には市営地下鉄グリーンラインが開通するとともに、区を中心部や幹線道路沿いには、大規模な商業施設等が続々と開業して賑わいが増し、2015 年には人口が 21 万人を越えました。市内で平均年齢が最も若い、活気あふれる街になっています。

一方で、横浜市は現在、少子高齢化に伴う様々な課題に直面しており、医療、福祉、防災、まちづくりなどあらゆる政策分野において、地域の中のつながりや支え合いの重要性が増しています。将来にわたり社会の活力を維持・創出していく上で、日頃から地域の一員として様々な奉仕活動を進めておられる、貴クラブへの期待も益々高まっています。今後とも時代の変化に応じた活動を展開していただき、横浜の未来へお力添えいただければ幸いです。

むすびに、貴クラブのより一層のご発展と、メンバーの皆様方のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

都筑区長 畑澤 健一



## 横浜都筑ライオンズクラブ結成 25 周年を記念して

横浜都筑ライオンズクラブが結成 25 周年を迎えられましたことに心からお祝いを申し上げます。

貴クラブは四半世紀に亘り奉仕の精神の下、様々な地域貢献活動を重ねられ、都筑区の誕生と共に歩みを進めてこられました。会員の皆様の献身的な取組は、平成 30 年で 24 年目を迎える都筑区の発展に大きく御貢献をいただいております。皆様の継続した幅広い御活動とその御尽力に対しまして厚く御礼申し上げます。

これまでも、毎月の献血奉仕活動や防犯・防災への御協力はもとより、都筑区の名勝であり年間を通じて多くの皆様が訪れる「江川せせらぎ緑道」での清掃活動や爛漫の桜花と対をなす「チューリップ」の球根植えへの参画など多岐に亘る活動はたいへん印象的です。皆様の地域の安全安心を支え、水と緑を育む活動に心から敬意を表する次第です。春に咲き誇る「チューリップ」の花々は晩秋早朝から参画された皆様の御尽力あつての開花といえます。

また、長年に亘り継続している「福祉農園」は障害のある人もない人も皆様が一緒に楽しく交流する都筑区ならではの事業として定着していますが、その源は貴クラブの皆様が中心となって開催した「バーベキューと演歌の夕べ」がきっかけとなっていると伺いました。当時の開催の思いは、現在の取組の基本として引き継がれ、今日に至っています。

さらには、昨年（平成 29 年）3 月 25 日から開催された「第 33 回全国都市緑化よこはまフェア」と連動して、都筑区では「都筑区花いっぱい運動」を自治会町内会、企業、公園愛護会やハマロードサポーターの皆様はじめ、多くの区民の皆様に御協力をいただきながら、さらに拡充し展開を図ってまいりました。貴クラブの皆様からは、センター北広場公園の 2 か所に「植樹ます内花壇の柵」を御寄附いただきました。「花いっぱい運動」を大いに盛り上げていただきましたことに深く感謝申し上げます。貴クラブはじめ多くの皆様で取り組んだ一大イベントは、都筑区のふるさとづくりを大きく進めるものとなったと思います。

結びに、都筑区の未来に向けた皆様の地域を思う「心」と奉仕活動に対し、重ねて敬意を表しますと共に、貴クラブのますますの御発展と会員の皆様の御健勝と御活躍、社業の御隆盛を祈念申し上げ、お祝いのことばとさせていただきます。

## 祝辞

都筑警察署長 吉留 育弘



## 横浜都筑ライオンズクラブ結成25周年を祝して

横浜都筑ライオンズクラブが結成25周年を迎えられたことに心からお喜び申し上げますとともに、四半世紀の歴史を築き上げてこられた会員皆様のご努力と熱意に深く敬意を表します。

ライオンズクラブは、世界最大の奉仕クラブ組織として、100年余にわたり、ビジョンとパッションを持って、様々なミッションを果たされ、「ニーズがあるところにライオンズがいる」と言われるように、地域社会にとって不可欠な存在と承知しておりますが、LIONSの「S」がSafety（社会の安全）の「S」ということから、安全安心まちづくりにも多大のご尽力をいただいております。地域の治安を担う警察署として、この機会をお借りして、改めて感謝申し上げます。

ところで都筑区は、平均年齢が横浜市内最年少の41歳、年少人口（15歳未満）の割合も横浜市内で最も高く、安全で安心なまちづくりを進める上で、「子ども」がキーワードになると考えております。

子どもの安全、健全育成について、さらに、いろいろな切り口で考え、必要な対策を講じ、都筑区民の歌のイメージどおり、「あなたとわたしが安心して夢のつづきを追いかけることができる、重ね合うことができる」そんな街の実現に向けて、地域社会の声望と奉仕実績を兼ね備えたライオンズクラブの皆様との連携をこれまで以上に密にしていきたいと思っておりますので、引き続き、お力添えをいただければ幸いです。

末筆ながら、都筑ライオンズクラブの一層のご発展と会員皆様のご活躍を祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

## 祝辞

都筑消防署長 星野 雅明



横浜ライオンズクラブの創立25周年、誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げますとともに、日頃から消防行政の推進にご理解とご協力をいただいておりますことに、感謝申し上げます。

貴クラブは、平成5年2月に「新横浜ライオンズクラブ」として結成し、都筑区の発足とともに「横浜都筑ライオンズクラブ」に名称を変更され、25年の長きに渡り献身的な活動を続けてこられました。

その間、分区当時約11万2千人だった都筑区の人口も、開発等による街づくりが進み、現在では約21万2千人と、約10万人もの区民が増え、また、若い世代の多い街へと発展してきました。

その中で、横浜都筑ライオンズクラブの皆様が、「思いやりと奉仕の精神」を基に、地域に対する奉仕活動として、献血奉仕、江川せせらぎ緑道の清掃奉仕、障害のある子どもたちのために始めた福祉農園、区民まつりへの参加など、地域に根差した様々な活動に取り組み、都筑区の発展のために多大なる貢献をされてきたことに対しまして、心から敬意を表します。

平成23年に発生した東日本大震災以降、近い将来、「首都直下地震や南海トラフ地震」などの大きな地震が発生すると言われています。また、近年では、台風やゲリラ豪雨による甚大な被害をもたらす災害が日本各地で起こっています。災害はいつ起こるか分かりません。これらの災害に対応するため消防署は、消防団と連携し、一丸となって、「安全で安心して暮らせるまち・都筑区」の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

皆様におかれましては、引き続き地域のよきリーダーとしてご尽力いただくとともに、都筑区の防火防災に対しましてもお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

結びに、横浜都筑ライオンズクラブのさらなるご発展と、会員の皆様のますますのご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。